

## 令和4年度第2回 「関西広域産業ビジョン」推進会議 議事要旨

- 【日時】 令和5年3月29日(水) 13時30分から15時
- 【場所】 大阪産業創造館 6階 会議室A・B
- 【出席者】 別添名簿のとおり

### 【議事】

- (1) 令和4年度広域産業振興局事業の実績報告及び期末評価について (資料1)
- (2) 令和5年度広域産業振興局事業の計画及び目標設定について (資料2)

### 【委員からの主な意見】

#### (1) 令和4年度広域産業振興局事業の実績報告及び期末評価について

- ・ スタートアップ・エコシステム情報発信事業は何を狙っていくか。例えば、1年後の分析や、フィードバックをどのようにするべきか。限られた予算の中で、戦略的にエッジの立つところで、スタートアップ事業に注目している。効果的に予算を使っていくためにも、この1年の経験を踏まえ、見直し等々も含めてどのような展開を考えていくかが重要。
- ・ 地元関西でスタートアップがどの程度あり、登録されたのがどういう領域のスタートアップであるか、そのあたりの情報が大事。万博に関連させたところで、テーマである命輝く未来社会のデザインに関連する領域のスタートアップがどうなっているのか。それが、次に続くフォロワーにとって情報の効果があると思う。他の項目もそうだが、資料ではアウトプットのデータが出ているが、実際にどういう展開をしているのか、事例も含めながら書き込むとわかりやすい。
- ・ 目標値がアウトプットになっていて、その結果アウトカムがどんなところをめざしていくのか、アウトプットとアウトカムを説明してもらえると、具体的にわかりやすい。
- ・ アウトプット、アウトカムについては、業種によって変わってくるものと認識している。その辺のことも考えて数値を設定すべき。多様な業種にも恩恵があるように工夫してほしい。
- ・ アンケートや事後のフォローアップで効果検証を行い、定量的な数値とともに定性的なものを含めて情報開示をすれば、来年度事業について、また、ビジョン改訂に向けてどのような方向性にするのかの指標になる。

- ・ 関西広域連合に期待するのは、産業振興分野で広域行政を深化させていくところ。その部分の評価もしていただきたい。

例えば関西広域産業共創プラットフォーム事業については、一番重要なのは関西の各公設試の連携が深まったということだと思う。

- ・ 事業評価の際に、やはり広い意味での満足度調査のようなものも必要ではないか。
- ・ 関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業は非常に重要な事業。課題は、関西で起業してもらい、あるいはスタートアップ企業を国外から誘致するということが最終的な目標になると思うので、そこをどのように考えるか、もう一步踏み込んだ検討が必要。

## (2) 令和5年度広域産業振興局事業の計画及び目標設定について

- ・ 地域魅力の発信、マーケットの拡大支援を首都圏等で実施するということが、プロモーションには流通業者(バイヤー)向けと一般消費者向けがある。これまではフランスで行ったような、流通業者(バイヤー)との商談の機会を設ける取り組みについて、来年は少し手薄になるかなと思うので、例えば、海外から流通業者(バイヤー)が来るようなものを活用するとか、流通業者(バイヤー)向けと消費者向けを考えてはどうか。
- ・ 広報活動の from NOW ON KANSAI について。年4回程度発行を予定しているとのことだが、インタビューの部分については紙媒体だけではなく、広域産業振興局のHP内で、YouTubeで紹介するなど展開の仕方があると思う。